

UNITE  
FOR  
GOOD

よいことの  
ために  
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーのメッセージ

よいことのために手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

写真提供: 関家第二会員

Rotary  倉敷南ロータリークラブ  
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961  
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 3016 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.3016/2025. 10. 10

Guest 浅野 和志 様 (萩原工業(株)代表取締役社長)、八木 建様 (萩原工業(株)  
経営企画室 TS) Visitor なし

出席 会員数 60 名 (うち出席規定免除者 15 名②2 名①13 名)

10/10 の出席率 66.67% (出席者 34 名、内①6 名)

欠席 伊藤、松隈、三宅(繁)、中川、沼本、奥山、関家、滝川、和田(務)、渡辺(英)、  
渡辺(清)、山田、山本(勲)、柳沢、横道、横溝、横田、各会員 (17 名)

#### ●浅見会長

- ・本日の卓話は萩原工業(株)社長 浅野和志様です。日本のみならず海外にも積極的に事業展開されており、国際的な視点での講演をお願いし快諾頂きました。
- ＜ご入会の挨拶＞野村交通(株)本社代表取締役社長 野上忠司様:皆様と一緒に活動し地域に貢献したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。
- ・＜会長の時間＞10/4,5 米子市で 2690 地区の地区大会が開催され、多数参加頂きありがとうございました。1 日目は尾見茂さんの講演でした。現在コロナの死亡率は低いが伝播率は最初の頃よりも数倍強く、コロナによる死亡者数は今の方が多いとの事。現在第8波で既にワクチンができています。2 日目は竹田恒泰さんが「誇り高き日本の未来」という演題で講演。明治天皇の玄孫にあたり日本の皇族や伝統文化に詳しく、古事記を読みやすく編纂し無償で日本各地のホテルに備えられてるそう。いかに古来の日本人が人の為世の為に生きてきたかと お話し頂いた。
- ・10/3 食事の差額 31,500 円を米山記念奨学会に寄付。10/11 玉野 RC チャリティーゴルフ大会に 4 名参加。10/14 元会長会を開催。例会後に 65 周年の最終打合せ。
- 幹事報告 (神先副幹事): 米山記念奨学会より、10 月米山月間資料。他来信 6 件
- 親睦家族委員会(河原委員長): 第2回浅見会長ゴルフコンペを 12/6 に開催します。  
場所は倉敷カントリーから吉備カントリーに変更となっています。
- スマイル報告 (土井 S.A.A) ※紙面の都合上、同じ内容の場合は取り纏めております。

- ・浅見会長、田島副会長、土井 SAA、神先副幹事、山本(真)会員：①野上様の入会を歓迎いたします。②萩原工業 浅野社長様ようこそお越しくださいました。
- ・プログラム委員会：松村、石田、各会員 桐野、河原、永井、畠田(章)高田、瀧岡、山根、各会員：萩原工業(株)浅野社長様のスピーチを楽しみにしております。
- ・栗元、畠田(晴)、各会員：妻のお誕生日にお花を有難うございました。
- ・永井会員：お誕生日のお祝い有難うございました。
- ・浅見会長：10/12 朝 6 時 30 分より RSK テレビ「就活おたすけマン情熱リーダーズ」にシマダオールの畠田社長が出演されとのこと、早速録画予約しました。

●プログラム卓話「萩原工業株式会社のグローバル展開について」

萩原工業株式会社 代表取締役社長 浅野和志 様

- ・明治 25 年に西阿知の萩原家でござ問屋をスタートさせた。昭和 37 年ごろの縦糸をプラスチックで作ろうとして水島に工場を作ったのが萩原工業です。
- ・1995 年インドネシアに会社を作り、その後上場し、青島や上海に進出。
- ・私が社長になり 2 社買収。EPC という世界に拠点を持つ販売会社を買収しグローバル化加速。タイ、パラグアイ、テキサスに進出する一方で、青島では撤退。
- ・ブルーシートの国内 TOP メーカーだが輸入品が優勢、今は全体の 10% 程度の事業。特殊なシート、養生テープ、人工芝、メルタック、バルチップというコンクリートの中に入れる繊維など、目に見えないところで萩原工業はお役にたっている。
- ・世界 14 ヶ国 27 拠点。一番古いインドネシアは 1995 年建設、従業員 650 人。インドネシアには本社の課長を社長として赴任させている、本当に成長し帰ってくる。
- ・2002 年ブルーシートを製造販売しようと青島に進出。饅頭が小さくなったと労働争議が起きた、反日デモあった。デモはバイトが多く報道の半分以上が嘘だと解った。2022 年ブルーシート売れず 70 人の社員で細々経営していた。6 月に突然、地下鉄の操車場を作るので 10 月中に更地にしろと無茶な要求。なんとか対応し 2023 年 6 月に解散。補償金を日本にどうやって持ち帰るか考え、解散したが清算前に配当を実施。中国事業をトントンで終える事できたが、中国は投資するには難しい国。
- ・パラグアイは日本の真裏にある国でバルチップを作っている。南米では一番治安良く、S30 年代の移民が多く日本語通じる。社員が JICA のセミナーに参加し人脈を作ったのがきっかけ。ブラジル向け販売多くコンテナが値上がり現地進出決断。
- ・次にテキサスに進出、先々週に開所式行う。メルタック取引のユーザー数地、建屋を借りて工場を作る。人件費高く人の採用には苦戦中。
- ・海外進出のメリットは現地の生の声が聴ける事、社員が育つ事。デメリットは社員の安全。出るのもリスクだが出ないのもリスク、であれば出るのが萩原工業の戦略。「気付きに勝る学習無し」、「言えるか、聞けるか」を徹底し社員育成中。

例会プログラム予定：10 月 17 日(金)卓話 米山月間について 岡米山記念奨学委員長、リン様  
11 月 1 日(土)17:00～「創立 65 周年記念・第 49 回 OBOG 会合同例会」倉敷アイビースクエア